

令和6年度

第4回定期監査
結果報告書

(令和7年2月執行分)

御殿場市監査委員



令和6年度

第4回定期監査
結果報告書

(令和7年2月執行分)

御殿場市監査委員

06御監第385号
令和7年3月27日

御殿場市長 勝又正美様
御殿場市議会議長 永井誠一様

御殿場市監査委員 榊原敏彦
御殿場市監査委員 勝間田博文

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、令和6年度第4回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

令和6年度第4回定期監査結果報告書

第1 監査の基準

この監査は、御殿場市監査委員監査基準(令和6年御殿場市監査委員告示第5号)に基づいて実施した。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づく監査

第3 監査の対象

産業スポーツ部 商工振興課、スポーツ交流課、国土調査課

都市建設部 都市計画課、都市整備課、公園緑地課、建築住宅課、道路河川課、管理維持課

第4 監査の着眼点

財務に関する事務が、正確で、適正かつ効率的に行われているか

- (1) 予算の執行に関する伝票等及び証拠書類等について
- (2) 現金、通帳、郵券等の金券などの管理について
- (3) 委託料随意契約の理由について
- (4) 備品等の管理について

第5 監査の主な実施内容

1 監査の期間

令和7年1月20日から令和7年2月28日まで

2 監査の範囲

令和6年4月1日から令和6年12月31日までの財務に関する事務事業の執行状況

第6 監査の実施場所及び日程

実施日	実施場所
令和7年2月26日、28日	監査委員事務局

第7 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

産業スポーツ部

1 監査の対象

商工振興課、スポーツ交流課、国土調査課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

商工振興課

当課は、課長以下 8 人(うち会計年度任用職員 2 人)で、商工労政スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・労政に関する事業（ふるさと就業奨励金事業、合同企業ガイダンスの開催、勤労者住宅建設の支援(利子補給)、駿東地域職業訓練センター指定管理運営事業、等)
- ・商工業振興に関する事業（商工振興事業(融資資金利子補給)、商店街活性化事業、経済活力創出事業、経済対策助成事業、プレミアム富士山 G コイン事業、御殿場駅前にぎわい創出事業、地域産業立地促進事業、等)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	183,000	192,687	192,687	0	105.3	100.0
県 支 出 金	231,472,000	156,871	156,871	0	0.1	100.0
財 産 収 入	1,196,500,000	506,596,403	506,596,403	0	42.3	100.0
繰 入 金	1,062,000	1,062,000	1,062,000	0	100.0	100.0
諸 収 入	31,005,000	519,600	519,600	0	1.7	100.0
市 債	14,700,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
労 働 諸 費	138,422,000	89,281,338	49,140,662	64.5
商 工 総 務 費	31,226,000	15,054,283	16,171,717	48.2
商 工 振 興 費	920,613,000	243,584,436	677,028,564	26.5

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、鍵がかからない場所での保管だった。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 指導(注意)事項

通帳の管理について、鍵がかかる場所で適正に管理されたい。

(8) 意見・要望事項

ア デジタル地域通貨「富士山Gコイン」について、これまでの普及啓発により、加盟店舗数が約400店舗、登録者数が約5万5千人に達し、多くの方が利用している。また、各種の施策・事業でポイントを付与することで、経済対策、生活支援等の課題解決を図る新たな活用も始まっている。カード利用可能店舗数が少ないことへの対応等については難しさもあるようだが、利用者の利便性向上への取組みを今後も継続されたい。

イ 人口減少や労働者不足が社会的課題となる中、当市では「地方創生移住支援事業(国の事業)」の他、市独自の「ふるさと就業奨励金事業」で移住者・就業者を着実に増やしている。引き続き、企業及び関係各課と連携を強化し、移住・就業の増加に繋げられるよう取り組まされたい。

ウ 地区商工会補助金について、各地区の商工会支部へ諸活動の補助を行っているが、補助がない地区がある。財産区の有無により地域的な不均衡が生じないよう配慮されたい。

エ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助等団体の経理事務について、精算報告書の他、出納簿、通帳、領収書のチェックを行い、適正に運用されるように引き続き指導されたい。

スポーツ交流課

当課は、課長以下 10 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、スポーツ振興スタッフ、スポーツツーリズムスタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・スポーツ振興等に関すること（競技スポーツ団体の体制基盤整備、指導者の養成確保、競技スポーツの振興、等）
- ・指定管理施設運営事業（総合体育施設及び馬術・スポーツセンターの指定管理に関する事務）
- ・スポーツツーリズム推進事業(オリンピック・パラリンピックレガシー推進事業、スポーツタウン御殿場推進事業、等)
- ・自転車活用推進計画策定事業
- ・スポーツ交流振興事業(三井住友VISA太平洋マスターズ開催支援、ゴルフ振興事業、等)

(2) 予算の執行状況（一般会計）

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	212,000	212,730	212,730	0	100.3	100.0
寄 附 金	2,444,000	2,444,000	2,344,000	100,000	95.9	95.9
繰 入 金	20,140,000	140,000	140,000	0	0.7	100.0
諸 収 入	12,100,000	0	0	0	0.0	-
市 債	45,900,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
ス ポ ー ツ 振 興 費	339,326,000	236,694,396	102,631,604	69.8

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

ア 市馬術・スポーツセンターはオリンピックに向けた馬術競技の競技別強化拠点「ナショナルトレーニングセンター（NTC）」に指定され、馬術競技の全国大会やオリンピック強化選手の合宿などで活用されているが、平成14年8月に完成して以来、老朽化が進んでいる。NTC の指定期間や施設の指定管理期間等との兼合いもあるが、施設の修繕計画も含めたセンターの長期的方向性について、今後、十分に検討されたい。

イ 長年課題として挙げていた市体育館の空調設備について、令和8年度の設置に向けて準備を進めているとのこと。体育館利用者が安全・快適に運動できる環境を整えるとともに、災害発生時の避難施設としての利用も想定して、着実な事業の進捗に努められたい。

ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助等団体の経理事務について、精算報告書の他、出納簿、通帳、領収書のチェックを行い、適正に運用されるように引き続き指導されたい。

国土調査課

当課は、課長以下 8 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、地籍調査スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

・地籍調査事業に関すること

正確な地籍、地図の整備を図るため、調査の実施及び成果の管理等を行う。

- ① (令和 5 年度継続事業) 印野の一部 51ha に関する閲覧、認証及び登記事務
- ② (令和 6 年度事業) 中山の一部 17ha の土地所有者立会による境界確認作業
- ③ 図根点(測量基準点)の保護事業
- ④ 地籍調査済地の成果閲覧、相談、成果修正事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	250,000	144,700	166,900	△22,200	66.8	115.3
県 支 出 金	15,522,000	15,522,000	0	15,522,000	0.0	0.0
繰 入 金	1,000,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
国 土 調 査 事 業 費	28,125,000	5,612,322	22,512,678	20.0

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、適正に対応されていた。

(6)備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7)意見・要望事項

ア 市民の財産に関わる業務であるため、引き続き、丁寧な説明をし、的確な調査・測量等の実施に努められたい。

また、今年度から市街化区域や人口集中地区(DID地区)を主体とした調査に移行し、地権者が増加することから、従来の説明会の外、個別説明会を新たに開催している。今後も地権者の協力を促す方策を工夫して対応するとともに、国との連携も強化し、職員の知識経験や資質の向上に努めることで、円滑な事業進捗を図られたい。

イ 相続が未完了の土地の境界確認について、無反応土地所有者への対応として土地境界のみなし確認制度が創設されるなど規定の改正が進んでいる。今後も、国の法整備及び新しい手法等の情報収集に努め、困難もあるとは思いますが、計画的に事業を実施されたい。

都市建設部

1 監査の対象

都市計画課、都市整備課、公園緑地課、建築住宅課、道路河川課、管理維持課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

都市計画課

当課は、課長以下 10 人で、計画スタッフ、開発スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・都市計画調査事業（景観形成推進事業、都市計画決定関連事業、都市計画基本図更新事業、等）
- ・都市計画法による許認可事務（開発行為の許可(第 29 条)、建築許可(第 43 条)、等）
- ・土地利用事業指導要綱に基づく事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	6,003,000	3,860,355	4,034,675	△174,320	67.2	104.5
県 支 出 金	10,000	0	0	0	0.0	-
繰 入 金	18,915,000	0	0	0	0.0	-
諸 収 入	35,000	11,900	12,200	△300	34.9	102.5

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
都 市 計 画 総 務 費	62,818,000	2,823,153	59,994,847	4.5

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

ア 不適切盛土について、定期的なパトロールを実施し、現在まで、緊急の対応は必要なかったとのこと。パトロールの継続や随時の情報収集、県との密接な連携等により、引き続き、状況の把握に努めることで、新たな不適切盛土の発生防止を図られたい。

イ 景観形成推進事業について、依然として違反広告物が課題となっているが、市独自の自然や歴史、文化に根差した良好な景観を守り育てるためにも、引き続き、制度の周知を図るとともに、是正指導に努められたい。

ウ 地区計画適用基本方針の解釈を巡る事業者等の反応や、太陽光発電施設の設置に伴うトラブル多発等に係る課題が示されており、特に市街化調整区域における今後の土地利用について懸念が残る。太陽光発電事業については環境課が市条例制定を検討していくとのことだが、貴課においても関連制度の一層の周知や関係課との情報共有を図り、民間事業の適正な誘導に努められたい。

都市整備課

当課は、課長以下 9 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、市街地整備スタッフ、新拠点整備スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・街路関連事業(都市計画道路 新橋深沢線(市道 0115 号線)道路整備事業、市道 4242 号線整備事業、新橋茱萸沢線等整備事業)
- ・御殿場駅周辺施設整備事業(御殿場駅周辺活性化事業)
- ・拠点等整備事業(板妻南工業団地開発事業、夏刈南部工業団地開発事業、富士御殿場工業団地開発事業)
- ・地域公共交通対策事業(地域公共交通活性化対策事業、シャトルバス運行検討事業、等)
- ・駅周辺施設維持管理事業(御殿場駅、南御殿場駅、富士岡駅周辺施設の維持管理に関する事務)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	4,687,000	4,688,150	4,688,150	0	100.0	100.0
国庫支出金	81,767,000	0	0	0	0.0	-
(うち現年)	70,350,000	0	0	0	0.0	-
(うち繰越明許費)	11,417,000	0	0	0	0.0	-
県支出金	500,000	0	0	0	0.0	-
財産収入	13,944,000	13,944,666	13,944,666	0	100.0	100.0
繰入金	40,681,000	10,737,000	10,737,000	0	26.4	100.0
市債	137,400,000	0	0	0	0.0	-
(うち現年)	125,600,000	0	0	0	0.0	-
(うち繰越明許費)	11,800,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
施 設 管 理 費	77,678,000	37,927,998	39,750,002	48.8
街 路 関 連 事 業 費	290,419,000	142,176,219	148,242,781	49.0
(うち現年)	262,919,000	126,840,550	136,078,450	48.2
(うち繰越明許費)	27,500,000	15,335,669	12,164,331	55.8
拠 点 等 整 備 事 業 費	1,327,170,000	155,265,604	1,171,904,396	11.7
(うち現年)	1,317,974,000	146,069,604	1,171,904,396	11.1
(うち事故繰越し)	9,196,000	9,196,000	0	100.0

※人件費を除く

(3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
御 殿 場 駅 富 士 山 口 広 場 使 用 料	3,787,000	3,788,150	3,788,150	0	100.0	100.0
御 殿 場 駅 箱 根 乙 女 口 広 場 使 用 料	900,000	900,000	900,000	0	100.0	100.0

※行政財産の目的外使用料を除く

(4) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8)意見・要望事項

- ア 御殿場駅周辺活性化事業について、市民等の意見の集約の場として「御殿場 100 人ミライ会議」を開催し、そこから更にプロジェクトチームを結成して、まちづくりの企画から実現までを伴走支援している。駅周辺地域の課題解決に向け、今後も市民や利用者の意向の反映に努めるとともに、引き続き、市民等の自主的・自立的な取組みが、まちの賑わい創出に繋がるような環境づくりを進められたい。
- イ 御殿場駅周辺施設について、今年度、富士山口シェルター屋根の緊急修繕や東西自由通路の雨漏り対応が必要となる等、施設の老朽化が進んでいる。今後、計画的な調査・修繕を行うことで予算執行の平準化を図るとともに、国等の補助金も活用できるよう積極的に情報収集されたい。
- ウ シャトルバス運行検討事業について、令和7年6月の試運行を目指して各機関との調整を行っているとのこと。多くの方の利用を促すような広報を工夫するとともに、試運行後も、利用者の意見を反映した調整に努め、一層の利便性向上を図られたい。

公園緑地課

当課は、課長以下 7 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、公園緑地スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・公園管理事業（秩父宮記念公園、都市公園の指定管理等に関する事務）
- ・公園整備事業（秩父宮記念公園整備事業(第2期)）
- ・緑化推進事業（緑地帯等管理事業、花いっぱいまちづくり事業、富士山桜いっぱいまちづくり事業、等）
- ・(仮称)原里市民の森整備事業

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	1,630,000	1,663,313	1,661,713	1,600	101.9	99.9
国庫支出金	2,400,000	0	0	0	0.0	-
繰 入 金	78,895,000	56,676,087	56,676,087	0	71.8	100.0
諸 収 入	58,000	11,000	11,000	0	19.0	100.0
市 債	27,200,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
公 園 管 理 費	291,809,000	204,982,976	86,826,024	70.2
公 園 整 備 費	10,126,000	294,356	9,831,644	2.9
(仮 称) 原 里 市 民 の 森 整 備 費	5,527,000	0	5,527,000	0.0
緑 化 推 進 費	26,545,000	12,316,344	14,228,656	46.4

※人件費を除く

(3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
公 園 占 用 料	1,630,000	1,663,313	1,661,713	1,600	101.9	99.9

※行政財産の目的外使用料を除く

(4) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8) 意見・要望事項

ア これまで、大型の都市公園整備は、国補助金の活用を前提として計画されてきたが、国の予算配分が厳しくなり、事業の長期化や財源の見直しを要する場合も想定されるなど、状況が変化してきている。今後の公園整備のあり方について、中長期的な計画の検討に努められたい。

イ 公園は、不特定多数の人が集まる場所である一方、小さい子どもから高齢者まで住民の憩いの場所でもあることから、防犯の観点からも、利用者の安全安心の確保が求められる。各公園の規模や位置・形状、利用者傾向等の特性に応じて、防犯カメラ設置等の安全対策を検討し、必要な措置を講じられたい。

ウ 生け垣設置奨励金について、近年は、申請がない年もあるとのことだが、緑豊かなまちづくりの推進や地震対策に有効な制度であるため、利用を促す周知方法を更に工夫されたい。

建築住宅課

当課は、課長以下 17 人(うち休職者 1 人、会計年度任用職員 2 人)で、住宅スタッフ、建築指導スタッフ、公共建築スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・市営住宅の管理に関する事務（環境整備、使用料徴収・滞納整理事務、等）
- ・空家等対策に関する事務
- ・建築物等の確認に関する事務
- ・建築相談、建築物等の地震対策に関する事務
- ・公共建築物の設計・積算・監督業務等に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
分担金及び負担	1,291,000	0	0	0	0.0	-
使用料及び手数	133,013,000	172,992,450	97,893,720	75,098,730	73.6	56.6
国庫支出金	22,395,000	0	0	0	0.0	-
県支出金	7,992,000	383,637	383,637	0	4.8	100.0
繰入金	6,000,000	0	0	0	0.0	-
諸収入	2,415,000	793,870	997,270	△203,400	41.3	125.6
市債	20,100,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
住宅総務費	135,589,000	62,236,261	73,352,739	45.9
建築指導費	31,087,000	12,525,625	18,561,375	40.3
営繕管理費	1,573,000	397,882	1,175,118	25.3

※人件費を除く

(3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対 調 定
市営住宅使用料	125,296,000	164,605,599	92,925,860	71,679,739	74.2	56.5
(現年度分)	119,596,000	78,615,420	83,228,380	△4,612,960	69.6	105.9
(過年度分)	5,700,000	85,990,179	9,697,480	76,292,699	170.1	11.3
市営住宅駐車場 使用料	6,227,000	7,262,251	3,771,260	3,490,991	60.6	51.9
(現年度分)	5,927,000	4,019,860	3,340,360	679,500	56.4	83.1
(過年度分)	300,000	3,242,391	430,900	2,811,491	143.6	13.3

※行政財産の目的外使用料を除く

(4) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については、保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8) 意見・要望事項

ア 市営住宅使用料等の収納及び滞納整理業務について、収納率の向上に努められたい。

また、令和5年4月から市債権管理条例が施行され、私債権である市営住宅使用料と駐車場使用料についても、債権放棄に基づく不納欠損処理が可能となったが、その対応については、公平性の観点から慎重に検討するとともに、判断の根拠となる書類や記録を十分に整えるよう、改めて注意されたい。

イ 市営住宅の長寿命化計画について、来年度、計画の中間見直しを行うとのことだが、財源や入居率等、様々な課題を考慮した上で、有効性・実効性のある計画となるよう検討されたい。

ウ 市営住宅入居者からの各種相談や空き家相談について、相談者が抱える様々な問題に対し、親身になった丁寧な相談対応に努められたい。

道路河川課

当課は、課長以下 19 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、建設企画スタッフ、用地・登記スタッフ、工事スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・道路改良舗装、橋梁新設改良、河川改修に関する事務
- ・道路及び河川用地の取得及び物件補償に関する事務
- ・交通安全施設整備事業
- ・生活道路整備事業
- ・新東名高速道路関連整備事業(新東名側道等整備事業、スマートIC整備事業、アクセス道路等整備事業、等)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
分担金及び負担	52,038,000	0	0	0	0.0	-
(うち現年)	30,557,000	0	0	0	0.0	-
(うち繰越明許費)	21,481,000	0	0	0	0.0	-
国庫支出金	372,010,000	128,240,000	0	128,240,000	0.0	0.0
(うち現年)	316,785,000	128,240,000	0	128,240,000	0.0	0.0
(うち繰越明許費)	55,225,000	0	0	0	0.0	-
寄 附 金	38,000,000	60,000,000	0	60,000,000	0.0	0.0
繰 入 金	902,019,928	123,547,000	123,547,000	0	13.7	100.0
(うち現年)	890,550,000	123,547,000	123,547,000	0	13.9	100.0
(うち繰越明許費)	4,950,000	0	0	0	0.0	-
(うち事故繰越し)	6,519,928	0	0	0	0.0	-
諸 収 入	30,000,000	0	0	0	0.0	-
市 債	610,100,000	0	0	0	0.0	-
(うち現年)	461,900,000	0	0	0	0.0	-
(うち繰越明許費)	141,000,000	0	0	0	0.0	-
(うち事故繰越し)	7,200,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
土 木 総 務 費	3,006,000	1,719,869	1,286,131	57.2
道 路 新 設 改 良 費	801,268,724	313,149,555	488,119,169	39.1
(うち現年)	573,926,000	135,682,478	438,243,522	23.6
(うち繰越明許費)	211,600,000	161,724,353	49,875,647	76.4
(うち事故繰越し)	15,742,724	15,742,724	0	100.0
生 活 道 路 整 備 事 業 費	30,000,000	18,691,528	11,308,472	62.3
橋 梁 新 設 改 良 費	55,013,000	0	55,013,000	0.0
(うち現年)	25,013,000	0	25,013,000	0.0
(うち繰越明許費)	30,000,000	0	30,000,000	0.0
防 衛 施 設 関 連 道 路 備 事 業 費	155,658,000	46,620,732	109,037,268	30.0
交 通 安 全 施 設 整 備 費	49,155,928	20,894,017	28,261,911	42.5
(うち現年)	30,013,000	10,811,089	19,201,911	36.0
(うち繰越明許費)	15,000,000	5,940,000	9,060,000	39.6
(うち事故繰越し)	4,142,928	4,142,928	0	100.0
地 域 計 画 関 連 道 路 整 備 事 業 費	886,252,000	321,589,618	564,662,382	36.3
(うち現年)	723,123,000	230,687,824	492,435,176	31.9
(うち繰越明許費)	86,800,000	14,572,794	72,227,206	16.8
(うち事故繰越し)	76,329,000	76,329,000	0	100.0
河 川 改 良 費	145,537,000	34,485,918	111,051,082	23.7
(うち現年)	135,637,000	25,435,918	110,201,082	18.8
(うち繰越明許費)	9,900,000	9,050,000	850,000	91.4
防 衛 施 設 関 連 河 川 改 修 事 業 費	162,336,000	42,983,622	119,352,378	26.5
(うち現年)	153,336,000	42,983,622	110,352,378	28.0
(うち繰越明許費)	9,000,000	0	9,000,000	0.0
新 東 名 高 速 道 路 関 連 整 備 事 業 費	34,565,000	1,598,879	32,966,121	4.6

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、鍵がかからない場所での保管だった。現金については保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、記録漏れが見受けられた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約については、該当がなかった。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 指導(注意)事項

通帳の管理について、鍵がかかる場所で適正に管理されたい。

郵便切手の管理について、適正な事務処理に努められたい。

(8) 意見・要望事項

ア 道路等の整備事業に係る用地交渉について、地権者には多種多様な考え方があり、対応が難しい業務ではあるが、平等性・公平性を保ちつつ丁寧な対応により信頼関係の構築に努めることで、着実な事業進捗を図られたい。

イ 令和6年度の国庫補助金の交付率が低下し、各事業の進捗状況が悪化しているとのこと。厳しい状況の中でも円滑な事業実施が図られるよう、一層の情報収集に努め、活用可能な新たな財源や代替補助金等の確保に向けて柔軟に取り組まれたい。

管理維持課

当課は、課長以下 11 人(うち会計年度任用職員 3 人)で、管理・占用スタッフ、維持スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・道路及び河川の維持修繕に関する事務
- ・雪氷対策に関する事務
- ・道路管理事務（市道路線認定、区域決定、道路承認工事許可、道路占用許可、等）
- ・河川管理事務（用途廃止申請、河川承認工事許可、河川占用許可、等）
- ・道路台帳及び河川台帳に関する事務（デジタル道路台帳更新事業・占用管理システム運用事業、等）

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数	38,532,000	38,523,152	38,293,644	229,508	99.4	99.4
国庫支出金	81,665,000	0	0	0	0.0	-
県支出金	32,000	33,007	33,007	0	103.1	100.0
繰入金	232,276,000	76,029,000	76,029,000	0	32.7	100.0
市債	308,500,000	0	0	0	0.0	-

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
土木総務費	22,285,000	2,288,435	19,996,565	10.3
道路橋梁維持費	860,596,000	412,343,513	448,252,487	47.9
（うち現年）	852,496,000	412,343,513	440,152,487	48.4
（うち繰越明許費）	8,100,000	0	8,100,000	0.0
生活道路整備事業費	450,000	0	450,000	0.0
交通安全施設整備費	55,605,000	23,711,926	31,893,074	42.6
河川改良費	70,000,000	47,298,714	22,701,286	67.6
道路河川等災害復旧費	140,000	20,879	119,121	14.9

※人件費を除く

(3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
市道・法定外道路占用料	32,000,000	31,931,913	31,872,861	59,052	99.6	99.8
河 川 占 用 料	6,500,000	6,580,139	6,409,983	170,156	98.6	97.4

※行政財産の目的外使用料を除く

(4) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8) 意見・要望事項

ア 今年度から道路河川異常通報フォームの運用を開始し、業務の効率化と通報しやすい環境の整備に努めている。市民の安心・安全の確保のため、引き続き、危険個所の早期発見と早期対応に努められたい。なお、従来の連絡方法による通報と比べると、利用者はまだ少ない状況であるため、通報フォームの周知方法について更に工夫されたい。

イ 既存私道の整備を目的とした幅員4m以上の私道整備助成について、相談や地区要望等はあるが、申請まで至らない状態が見られるとのこと。共有物件では、事業費の負担に係る共有者全員の意向がまとまらない等の問題もあるそうだが、制度の活用が進むような改善方策について検討されたい。